

モデルコース

Aコース

⑧ 按司墓 → ① 真南風之御嶽 → ④ 内嶺グスク……

Bコース

⑫ 力石 → ① 真南風之御嶽 → ② 東のシーサー →
③ 西のシーサー → ④ イチニガー → ⑦ ミーウカー →
⑨ ハル石……

Cコース

⑤ 松川ガー → ⑩ ガジュマル → ⑬ サーターヤ跡 →
⑭ 南風原駅跡……

主要施設

- 南風原町役場 098-889-4415
- 南風原郵便局 098-889-0720
- 南風原小学校 098-889-2088
- 南風原中学校 098-889-2095
- 南風原幼稚園 098-889-4101
- 兼城交番 098-889-3892
- 文化センター 098-889-7399
- 救急 119

兼城データ

●人口

	兼城区	南風原全体
男	2,453人	17,300人
女	2,519人	17,557人
合計	4,972人	34,857人

●世帯 1,689 世帯

●面積 91 ヘクタール

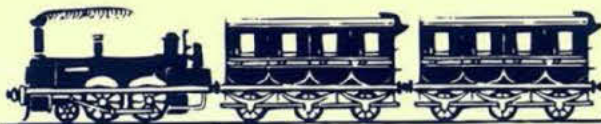
(平成22年1月現在)

12 力石



むかし、青年たちは畑仕事を終えたあと、チチシヌメーという広場で125斤(75kg)、95斤(57kg)、50斤(30kg)の3つの石で、力比べをして遊びました。

13 南風原駅跡



軽便鉄道与那原線の南風原駅で、無人駅でした。当時、駅には引込線が設置されて、貨車に多くの荷物を積み込み、帰ってきた機関車についで、那覇与那原に送り出しました。1945年沖縄戦で破壊されました。

発行/特定非営利活動法人 南原風平和ガイドの会
住所/沖縄県島尻郡南風原町字喜屋武 257 番地
南原風町立南原風文化センター内

電話・FAX / 098-889-2533

平成21年度 沖縄県雇用再生特別事業「シマじまガイド事業」

南風原町字兼城

カシチー由来のムラを歩く

兼城

兼城クエーナ

聞え兼城とよむ兼城
兼城按司の御好みのあとて

(中略)

拾尋の御殿ゑん立て八尋の御殿
ゑんだち 里之子御祝の御酒
あまん人あつまて 国の人あつめて
呑でん減ならん 酌でも減らぬ

(兼城クエーナより一部抜粋)



特定非営利活動法人 南風原平和ガイドの会

兼城の発祥

14世紀の始め、英祖王統四代目の玉城王の末子・
うぶくすくあじ 大城按司(真武)の二男・いひふくうふぬし 稲福大主が、先住していた
みいやうふぬし 新屋大主の養子となり、兼城ムラが築られました。



1 真南風之御嶽

内嶺グスクの入口でしたが、一般の人々はそこから中に入ることができませんでした。それで、この場所から拝みました。現在はガジュマルの根元に香炉が一つ置かれています。



2 東のシーサー

シーサーは、ムラの守護神として、14世紀頃中国から伝わってきた。目的は、ヒーゲーシ(火伏せ)及びヤナカジゲーシ(悪霊返し)等であり、御嶽や城門等に見られた。



3 西のシーサー

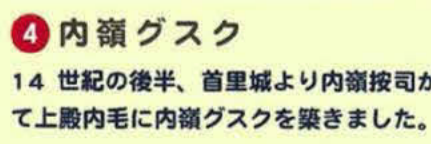
兼城ムラの守護神であり、火災や疫病からムラ人を守る信仰されていました。(上間ムラに向けられている)



9 印部土手石(ハル石)
 琉球王府時代から明治時代まで、田畑の面積を測量する基準点で、石には土手の所在地(原名)とひらがなの「い、ろ、は」などが刻まれています。町指定の文化財であります。



- 14 シーマシガー
- 15 ヌールガー
- 16 サーターヤー跡
- 17 大屋門中
- 18 喜納門中
- 19 合祀された拝所
- 20 下原門中
- 21 兼城ノ口の火の神
- 22 ヌバンジョーガー
- 23 外間崎
- 24 アジシー墓



4 内嶺グスク
 14世紀の後半、首里城より内嶺按司が一族を引き連れて上殿内毛に内嶺グスクを築きました。

5 松川ガー
 黄金森からの湧水で、兼城ムラの重要な井戸で、とてもおいしい水でしたが、校舎建築のため埋められました。



6 イチニガー
 イチニガーはウブガー(お産井戸)と呼ばれ、ウバギーメ(お産祝い用ご飯)をつくる時とナージキー(命名)の時に利用されました。

7 ミーウカー
 新里ガーとも呼ばれていたが、今はイチニガーの隣に香炉があります。



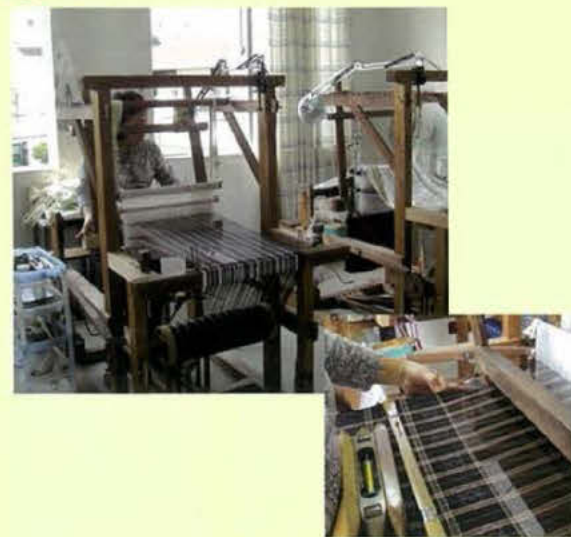
8 按司墓
 兼城按司のお墓で、カシチー行事・柴差の由来にまつわる墓です。黄金森の北側にあります。

10 南風原小学校のガジュマル



戦前からあったガジュマルで、戦禍にも耐えて残っている老木ですが、樹齢は不明です。今は校庭で子どもたちの成長を見守っています。

11 琉球かすり工房



たてがすり よこがすり たてよこがすり てしま
かすりには経緋、緯緋そして経緯緋や手緋などがあります。製品になるまでに18の工程を経て、琉球緋独特の模様が作り出されています。日本の緋の源流とも言われています。

門中

ウフヤムンチュウ ニイガン
むかし、大屋門中（根神）、下原門中（ヌンドウンチ）、喜納門中は兼城ムラの始祖と言われてきました。現在は枝分かれして10余の門中があります。

伝統芸能



カシチー由来記



揚作田



舞方棒
村遊びなどの祭祀の浄めの演舞で、力強い棒の舞によって災厄を祓う意味があります。町指定の無形文化財です。

主な年中行事

- 旧3月 与那原親川拜み
- 新4月 清明祭
- 旧6月 カシチー綱引き
アミシの綱引き

旧6月の綱引きは

旧6月25日、26日の祭祀で25日は豊作を祝う行事のカシチー綱で、拜みのあとムラ人全員で引く。26日はアミシの綱引きで水祈願に由来する。ムラ人以外も参加できます。

- 旧8月 カシチー柴差

カシチー（赤飯の強飯）と柴差の由来

むかし、秋に入る8月に、兼城按司の娘が死んだと思われて、黄金森にあるお墓に葬られてました。しかし、三日後に安平田という男を通して娘の生存が兼城按司に知らされると、桑とススキで妖気をはらって家に連れ帰り、赤飯でお祝いをしました。その後、安平田と娘は結婚し、牛を殺してお祝いしました。

今でも兼城は、旧暦8月10日のカシチーの日には赤飯を炊き、桑の葉とススキを結んだサンに牛の血を付けて、自宅の門や屋敷の四隅に差し、家族の健康と家内安全を願います。

- 旧12月 ムーチー

旧暦12月8日に、月桃の葉にくるんだ餅を子供に与え、健康を願う行事です。